



洗心

村山市立袖崎小学校

学校だより

No.2

令和6年4月25日発行

自分(たち)で決めて行動することの大切さ



学校教育目標を受け、今年度の目指す子ども像の重点を「自分(たち)で決め、行動する子ども」としました。

自分(たち)で決めるとはなぜ大切なのでしょうか。

従来、学校では、「人の言うことを聞き、指示通りに行動できること」がよいとされてきました。もちろん、それも大切です。しかし、「言われた通りにする」ことばかり求めてきた結果、いざ自分で判断しなければならない時に、すぐに誰かに決めてもらおうとしたり、他の人のまねをしたりしてしまい、結果、自分で責任をとらず、他人任せにする人を育ててきたのではないかという反省があります。指示待ちが常になると、自己効力感が育ちにくく、失敗を恐れる故に前向きなチャレンジができず、無気力になってしまう弊害も指摘されています。

これからは、人類が未だ経験したことのない時代がやってきます。多くの大人が小学生だった頃、こんなに異常気象は多くなかったですし、学校で一人一台タブレットを持つことなど想像もしませんでした。今の子どもたちが大人になる頃、どんな世界になっているのか。変化は急激で予測不可能です。これからは、誰も答えを持っていないことを、自分(たち)で情報を集めて、考えて、決めて、行動する力が必要とされます。

自分で決めるとは、学ぶ意欲にも大きく関係します。「（内容や方法を）自分が決めて、学んでいる」という意識があれば、子どもたちは目を輝かせて、粘り強く学びます。それは驚くほどです。たとえ、計算練習であっても、強制されて取り組むのと、自分でやると決めて取り組むのでは、効率も定着率も大きく違うことが分かっています。

ですから、今年度は、学習においても生活においても「自分(たち)で決め、行動する」をキーワードにして、子どもたちの主体性が育つ教育活動をつくっていきます。もちろん、「洗心あいうえお」は、継続して大切にていきます。詳しくは、裏面の学校経営方針をご覧ください。

環境整備作業ありがとうございました

4月13日(土)に雪囲い撤去作業やフェンス設置、側溝掃除、グラウンド整備等のPTA作業が行われました。

おかげ様で、校舎周りがとてもきれいに整備され、翌週から子どもたちはグラウンドで元気に遊んだり、体育の学習に取り組んだりすることができました。

朝早くからの作業ありがとうございました。

